



# らいおんぐみだより

R7. 2. 28 応其こども園

春の兆しを感じるものの、まだ気温の低い日が続いています。先月より、園庭で遊ぶ時間も増え、あまりの寒さに大人は背中が丸まっていますが、子どもたちは冷たい風に頬や鼻を赤らめながらも、元気に園庭を走り回り、遊んでいます。

今年度も残すところ、1か月となりました。らいおん組で過ごす時間もあとわずか。これまで以上に子どもたちと過ごす日々を、大切にしていきたいと思ひます。



## 素敵な発表会をありがとう

発表会では最後まで温かく見守ってくださり、本当にありがとうございました。

1月中は、体調不良で全員揃っての練習もほぼ出来ず。でも、子どもたちは自分のセリフをしっかり覚え、始めは緊張して小さな声しか出さなかった子も、練習をしていく中で、自信を持って大きな声で発表できるようになり、みんなの成長を目の当たりにさせてもらう日々でした。本番当日は、緊張より「やっと発表会の日が来た」「ようやくお家の人に見てもらえる」の喜びの方が大きく、ニコニコ笑顔で登園してくれる子どもたちでした。当日も全員揃うことが出来ませんでした。休んでいる子の分まで、「みんなで力を合わせて頑張ろう！」と意気込んで取り組みました。お家の人に見てもらって、いっぱい褒めてもらった事で、子どもたちも達成感を感じたことと思ひます。



## いちご狩りに行ってきたよ♪

子どもたちがとても楽しみにしていた、いちご狩りに九度山にある、奥農園さんにお邪魔させていただきました。前日から「いちご甘いかな」「緑のいちごは取らないよ」「白いいちごもあるんだって」と、子どもたちで話が盛り上がる様子も見られました。当日は、ハウス内のたくさんのいちごに目を輝かせ、「こっちにめっちゃ大きいのある」と手と同じぐらいのいちごを取ったり、「どれにしようかな」と一番真っ赤ないちごを慎重に選ぶなど、とても楽しんでいました！最高の笑顔で「あまい」「おいしい～」と頬張る姿は、とってもかわいかったです♡

## 味噌作りに挑戦



2月12日に、給食でほぼ毎日使用される「みそ」を作りました。「みそ」になるまでに、お米と麴の菌を混ぜたり、煮込んだ大豆をミキサーで潰すなど、たくさんの工程があり、「米麴の意味」や「みそは大豆から作られている」など、子どもたちにとって多くの発見がありました。見学だけでなく、一緒に体験させてもらったり、米麴になる前のお米や、米麴になった後のお米を食べさせて頂くなど、貴重な体験をさせていただき、「おいしい」「味がしないよ」など話し合ったり、笑顔で楽しむ様子の子もたちでした。活動が終わってからは、「早く食べたいな」「楽しみ」との声が聞こえ、今からワクワクしており、年長さんになるのがより一層楽しみにしている様子でした。今回、作った「みそ」は、年長さんの後半頃に食べられます。



## 最近の子どもたちは…

最近、戸外遊びで「だるまさんがころんだ」を取り入れ始めました。すると、戸外遊びをする度、「一緒にだるまさんがころんだしよ～」と友だちを誘う声が聞こえてきます♪同じクラスや学年の友だちだけではなく、年長さんや年中さんとも、一緒に楽しんでいる子どもたちです！



## 今月の絵本の紹介

### みがいてあげる



「たべてあげる」の続編！好き嫌いをして、小さくなってしまったりよたくん。しかし、ある方法で元の大きさに戻ることが出来ました。一体どんな方法を使ったのでしょうか。

この絵本から、歯を磨くことの大切さ、磨かないとどうなるのか、知った子どもたちは、毎日しっかり磨いてくれています。



## 作品展のお知らせ

3月1日・2日に、橋本市公民館まつりで、子どもたちの作品が展示されます。子どもたちによって作り上げられた、素敵な作品が出来ていますので、お時間がありましたら、是非見に行っていたいただければと思ひます。

\*場所…橋本市教育文化会館

